



2023年7月24日

各 位

会社名： 株式会社 小野 測 器
代表者名： 取締役社長 大越 祐史
(コード番号6858 東証スタンダード)

問合せ先： 取締役
常務執行役員 濱 田 仁
(TEL. 045-476-9706)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年1月31日に公表した連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2023年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	70	90	70	6.76
今回修正予想 (B)	5,097	△374	△349	△484	△46.32
増減額 (B-A)	△902	△444	△439	△554	—
増減率 (%)	△15.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	5,057	△253	△208	△280	△27.08

(2) 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	400	450	390	37.66
今回修正予想 (B)	12,000	200	250	200	18.92
増減額 (B-A)	△500	△200	△200	△190	—
増減率 (%)	△4.0	△50.0	△44.4	△48.7	—
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	10,928	55	211	246	23.82

(3) 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、世界的な半導体部品等の供給不足によるサプライチェーンの混乱、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とするエネルギー価格の高騰、急速に円安傾向となっている為替相場の影響等により、引き続き先行きが不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のなか、期首の受注残高は増加しておりましたが、売上予定であった案件が先送りとなったこと、部品供給不足の中での原材料価格の上昇や生産の小ロット化により原価が上昇したこと等により売上高、利益ともに下方修正いたします。

通期連結業績予想につきましても、売上原資となる受注残は一定程度確保できておりますが、上期の減少分を補うまでには至らないことから、売上高、利益ともに下方修正いたします。

今後につきましては、新規受注の獲得、販売強化、業務の効率化、コストダウンを推進し、通期業績予想の達成に注力してまいります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上